

# 飛躍

森町立旭が丘中学校 第3学年  
学年通信 第14号  
2020年 7月13日(月)  
文責 太田 雄司

## 中学校生活最後の2大行事に向けて

大雨警報発令のために4日連続の臨時休校。先週の水曜日も含めると、2週間で5日の臨時休校。教員生活29年目になりますが、今までに経験したことのない出来事でした。生徒たちにとっても、このような状況で通常通りに学校生活を送ることは、リズムを作りにくくとても難しかったはず。しかし、一週間ぶりに金曜日に登校してきた生徒は、そんな状況を言い訳にすることなく、毎時間の授業や一つ一つの活動に真剣に取り組んでいました。そんな姿を見て、本当に頼もしい生徒たちだなと実感しました。また我々職員も、昇降口や教室で生徒を迎えたり、休み時間に何気ない会話をしたりすることができ、生徒たちと接することの喜びや幸せを感じることができました。これらのことは普段は当たり前のように行っていたことですが、そういうことすら実は決して当たり前ではないということに改めて気付くとともに、普通に日常の生活が送れることに感謝をして生きていかななくてはならないと強く感じました。



さて、学校では2学期に行われる旭が丘中の2大行事の「**体育大会**」と「**飛躍祭**」に向けて、実行委員会が開催されたり、学級合唱曲を決めたりと本格的に準備が始まりました。1年生の頃から「**行事のためにクラスがあるのではなく、クラスのために行事がある。**」ということを守り続けています。行事を通して個人、そしてクラスが成長していかななくては行事に取り組む意味がありません。そのためには、勝つことや1番になることはとても大切な要素になります。しかし、それ以上に重要なものは本番に至るまでの準備の過程です。優勝や飛躍賞を目指し、どれだけ本気になって準備に取り組めたか？どれだけ思いを込めて練習をすることができたか？それらを積み重ねることが一人一人の力を高めることにつながり、さらには集団の成長へとつながっていくはず。



今年度の2大行事は、新型コロナウイルス感染拡大のために、例年より規模を縮小したり、様々なことを制限したりする中で開催されることとなります。例えば体育大会では、学年種目や綱引きは行われず、午前中みの開催となります。飛躍祭は終日開催となり、3年生の発表は午後になる予定です。中学校生活最後の「**体育大会**」や「**飛躍祭**」が昨年度までと違う運営方法・内容になったり、十分に満足いく条件ではない中で行われたりすることは、生徒たちにとってとても残念なことであり、悔しいことであると思います。しかし、だからといって「**今年の行事は盛り上がりませんでした。**」「**去年までの方が楽しかった。**」と終わってから思うような行事にしては駄目です。むしろ、こんな状況で行われる行事だからこそ、3年間で「**最高の体育大会**」「**最高の飛躍祭**」にしなければならぬと思います。そんな2大行事を3年生が中心となって創り上げていかななくてはならないと思います。そのために必要なものは一人一人の力です。一人一人の強い思いです。準備の段階からそのような姿を見せると、後輩たちは必ず付いてきます。きっと3年生に負けないようにと頑張ります。そうすることが2大行事の成功につながっていくはず。とは言え、何かを成し遂げようとするとき、決してその道のりは平坦ではありません。時にはなかなか成果が上がらず、友人と衝突することもあるはず。そんなときは、中学校生活で最高の思い出とするためにも、御家庭での温かい応援と励ましの声掛けをお願いいたします。

### 「**苦しい時は伸びる時 苦しい時こそ前進の時**」

昨年度末からここまで、生徒たちは様々な場面で不自由な思いをし、制約を受けながら学校生活を送ってきました。おそらくこの先も、いろいろなことを我慢しながら学校生活を送る場面が多々あると思います。しかし、「3年生の生徒たちなら、どんな状況でもどんな場面でも、**全力を出し切り、やり遂げることができる。乗り越えていくことができる。**」と1年生の頃から一緒に学校生活を送ってきた今、自信をもって言えます。なぜなら、彼らには逆境をプラスに変えて、大きく成長していけるだけの力が十分に身に付いているからです。様々な不運に見舞われていますが、ここで立ち直ってみせるのが今年の3年生の役割だと思います。普段から自分に厳しく生活していくことで、周囲の人たちにその姿を見せてほしいと思います。そして、真に輝いてくれることを期待します。

